

あなたの疑問・質問にお答えします

図書館に関する

素朴な疑問コーナー

Q & A  
小笠原祥子

## 図書館の本の探し方

**Q**：図書館の本の配架ですが、1冊の図書は該当の分類の場所に配架され、同じテーマの図書が集められていますね。テーマが多種にわたる場合も1冊に対して分類番号は1個ですね。テーマについての図書の探し方を多方面から教えてください。

**A**：次の主に2種類の検索方法から図書を探すことができます。

・キーワード検索

図書館HPの図書・雑誌検索のクイックサーチあるいは詳細検索画面から検索します。

(AND検索は単語をスペースで、OR検索は単語を「|」で、NOT検索は単語を「(スペース) - (マイナス)」で区切ります。)

キーワードで、完璧を期すには各種専門辞典やHP→データベース→事項データベース関連で調査をしてください。更に、国立情報学研究所 (CiNii Articles・CiNii Books)、国立国会図書館 (NDL-OPAC) の検索、HP→本学卒業論文CD (学内のみ) から関連のキーワードを知ることができます。

・分類番号と著者検索

キーワード検索結果の詳細画面から、分類番号が出版事項、配架場所、状態などとともわかりましたら、その分類番号から詳細検索画面で検索することができます。著者からも検索することができます。

**Q**：はい。キーワード検索に加えて、分類番号や著者から調べてみます。では再度分類番号の仕組みを説明してください。

**A**：分類表ですが、和書はNDC、洋書はDDCで分類をしています。

NDC (日本十進分類表) の分類本表は総記、哲学(宗教を含む)、歴史(地理を含む)、社会科学、自然科学、技術・工学、産業、芸術、言語、文学の10類をさらに細分化しています。3桁で小数点をつけます。補助表では、形式区分、地理区分、言語区分、文学形式区分の細目区分の表を使っています。

それぞれの分類番号は詳細画面でわかるので参考にしてください。キーワードは同じでもさまざまな分類番号がみられます。また、洋書はDDC (デュイ十進分類表) の分類です。和書は語学が800番台ですが洋書は400番台とか数字はNDCとDDCでは一定していません。図書の分類は1冊につき1分類ですが、検索するときには分類番号以外にキーワードや著者など多くの方面からの探し方があります。テーマについてより正確に多くの資料を見つけられることを期待しています。不明な点はカウンターまでお問い合わせください。

おがさわら しょうこ (情報サービス課長)